

★福島県の横軸道路整備に意欲 自民党の土井亨国土交通副大臣(衆院宮城1区)は16日、小林香福島市長と国交省で面会した。東北中央道の福島・米沢間、国道115号の福島―相馬間の予算確保と整備促進を求める要望書を受け取り「しっかりとやらせてもらいたい」と応じた。

福島県の沿岸部と内陸部を結ぶ横軸交通網の整備の必要性については東日本大震災前から感じていたという。「着実に道路整備を図ることは沿岸部の復興の加速化だけでなく、経済、観光振興の促進といった新たな展開にもつながっていく」と意義を語った。

国会 短信

★参院選挙区合区の現状疑問 参院憲法審査会の委員を務める自民党の大沼瑞穂氏(山形選挙区)は「参院の位置付け、特に地域代表性について検討を重ねるべきだ」と指摘する。各県から必ず一定数の参院議員が選出されるよう憲法規定を改める議論について「政策決定をめぐる、都市部と地方のバランスを取るためにも必要ではないか」と語る。

今夏の参院選から「1票の格差」是正のため、鳥取と島根、徳島と高知の選挙区で合区が導入される。「地方で現場主義を徹底できる議員が減ってしまつ」と現状に疑問を投げ掛ける。